

保護者の皆様へ

見能林小学校長 竹治 直樹

## 教育活動に関する保護者アンケートについて(結果報告)

本校の「教育活動に関するアンケート調査」をお願いしましたところ、おかげさまで98%のご回答をいただくことができました。結果をご報告いたします。

### 1 肯定的回答のポイントが高かったもの(「できている」「だいたいできている」の合計が70%以上)

- ①お子さんは、楽しい学校生活を送っている。(82%) 昨年度比 -4ポイント
- ②お子さんは、人を思いやる心や自然を大切にす豊かな心が育っている。(79%) 昨年度比 -3ポイント
- ③学校は、子どもの生命・安全を守るための安全教育や防災教育に取り組んでいる。(72%) 昨年度と同率

### 2 肯定的回答のポイントが低かったもの(「できている」「だいたいできている」の合計が50%以下)

- ①お子さんは、家庭でよく読書をしている。(27%) 昨年度比 -1ポイント
- ②お子さんは、学校以外でも感染症や熱中症を予防する行動ができている。(49%) 昨年度比 -7ポイント
- ③家庭では、インターネット(SNSやスマホ)やゲームなど、使い方やルールを決めて、守らせている。(44%) 昨年度比 -11ポイント
- ④学校の教育活動やPTA活動に進んで参加している。(31%) 昨年度比 -5ポイント

### 3 ポイントの上昇率が高かったもの

特になし

### 4 ポイントの下降率が高かったもの

- ①家庭では、お子さんとよく学校の話をしている。(68%) 昨年度比 -15ポイント
- ②家庭では、インターネット(SNSやスマホ)やゲームなど、使い方やルールを決めて、守らせている。(44%) 昨年度比 -11ポイント
- ③家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身につくように努めている。(63%) 昨年度比 -9ポイント

## 5 考 察

学校生活に関する項目では、多くの肯定的なご回答をいただきました。「楽しく学校生活を送っている」「思いやりの心が育っている」「安全教育にしっかり取り組んでいる」といった点は、いずれも7割以上の保護者の皆さまから評価をいただいています。学校での生活が安定し、子どもたちが安心して過ごせていることを改めて確認できました。

一方で、家庭での生活習慣やICT(スマホ・ゲーム)利用に関する項目では、肯定的回答が低いものや、昨年度から大きく低下しているものが見られました。特に「家庭で学校の話をしている」「インターネットやゲームのルールを決めて守らせている」「早寝・早起き・朝ごはんの習慣づくり」といった項目で、10ポイント前後の大きな減少が見られます。これらの背景には、保護者の皆さまの生活スタイルの変化や、子どもたちのスマートフォン利用の増加など、社会全体の状況が影響していると考えられます。学校としても、家庭だけに負担をおかけするのではなく、どのように協力し合えるかを一緒に考えていきたいと思っています。

また、読書習慣やPTA活動への参加についても、引き続き課題が見られました。これらは全国的にも共通する傾向であり、学校としても無理のない形で取り組みを進めていく必要があると感じています。

アンケート結果から、肯定的評価のポイントが全体的に下がっていることを真摯に受け止め、現状の改善に向けて取り組んでいく必要性を感じています。今後も、学校と家庭が協力しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。